

技術情報

車いす I S O の動向

I S O (International Organization for Standardization) とは、国際標準化機構の略であり、「工業規格の国際統一を促進」することを目的に設立された非政府組織であり国家標準化機関の連合である。国際規格は、I S O 会員団体の合意により作成されているが、原案は、専門委員会 (T C) 及び分科委員会 (S C)、作業部会 (W G) の活動を通じ必要に応じて、他の T C 及び国際機関と連絡を取り合いながら作成されている。

その中であって、車いす I S O 規格は次頁のチャートに示すように、「I S O / T C 173 (リハビリテーション機器) / S C 1 (車いす)」の分科会で検討されており、その中には6つの作業グループが現在、存在している。

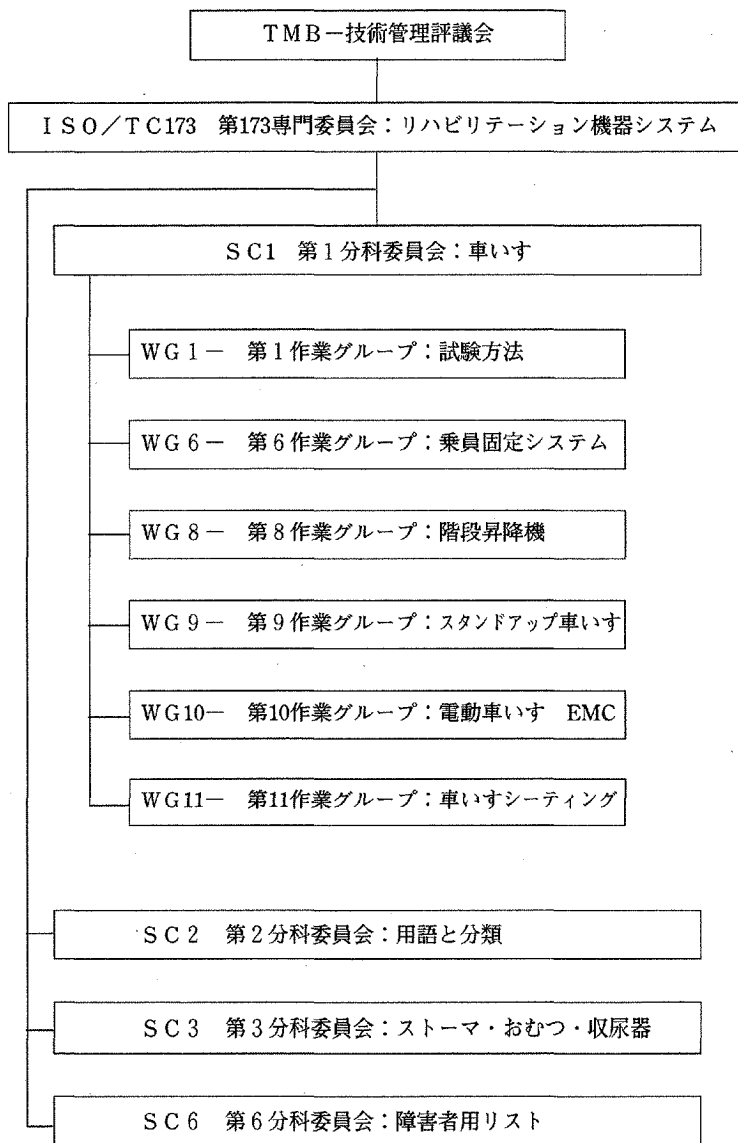
また、車いす国際規格は、7176シリーズ (手動、電動車いすの各種試験方法) を中心として、近年では、10542シリーズ (移動機器における乗員及び車いすの固定)、16840シリーズ (車いすシーティング) と新たなバリエーションを増やしている。

当協会 (事務局: 技術研究所) は、日本における、「I S O / T C 173 / S C 1」の審議団体として、I S O 事務局よりの規格に関する案件について、適時審議を行うとともに、平成14年 (4~10月) において次の9規格に関する回答を行った。また、電動アシストタイプの車いす (P A P A W) の新規規格を、日本より提案するため関係業界が中心となり準備を進めている。

規格	原案番号	規格名称	回答期限	回答内容
S R	7176-4	電動車いすのエネルギー消費量	'02-09-15	—
S R	7176-16	布張部分の耐熱性	'02-09-15	—
C D	7176-24	自走用階段昇降機	'02-05-06	賛成
C D	7176-26	名称・用語・定義	'02-09-22	賛成 (コメントあり)
C D	10542-3	拘束システム: ドッキングシステム	'02-08-05	反対 (コメントあり)
C D	10542-4	拘束システム: クランピングシステム	'02-10-13	反対 (コメントあり)
D I S	10542-5	拘束システム: 特定車いすの安全システム	'02-07-28	反対 (コメントあり)
C D	16840-3	車いすシーティング: 姿勢保持装置	'02-10-11	賛成 (コメントあり)
C D	16840-4	車いすシーティング: 車両内で使用する着座機器	'02-10-13	棄権

(注) S R : Systematic Review (5年見直し)、C D : Committee Draft (委員会原案)
D I S : Draft International Standard (国際規格案)
F D I S : Final Draft International Standard (最終国際規格案)

[ISO車いす規格の構造]



[国際規格の策定手順]

次の作業段階を経て国際規格（ISO）となる。

1. 提案段階 (NP)
2. 作成段階 (WD)
3. 委員会原案 (CD)
4. 照会段階 (DIS)
5. 承認段階 (FDIS)
6. 発行段階 (ISO)

(技術研究所 総務部)